

# 賛否の公表

採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。これ以外の議案等は全会一致で可決等されています。

## ● 採決結果一覧表 ●

(賛成=○、反対=×)

議席	氏名	会派	議案第6号	議案第57号 【委員会付託省略の動議】	議案第57号	請願第38号
1	鈴木 雅彦	奥和会	○	○	○	○
6	及川 佐		○	×	×	○
8	菅原 由和		○	○	○	○
12	千葉 正文		○	○	○	○
15	中西 秀俊		○	○	○	○
16	小野寺隆夫		○	○	○	○
18	中澤 俊明		○	○	○	○
20	藤田 慶則		○	○	○	○
23	渡辺 忠	○	○	○	○	
3	廣野 富男	市民クラブ	○	×	×	○
10	高橋 政一		○	×	×	○
11	佐藤 郁夫		×	○	○	○
19	千葉 悟郎		×	×	×	○
24	佐藤 邦夫	×	×	×	○	
2	千葉 敦	日本共産党	×	×	×	○
17	菅原 明		×	×	×	○
22	今野 裕文		×	×	×	○
27	及川 善男		×	×	×	○
5	菊池 利美	新世会	○	○	○	○
7	菅原 圭子		○	×	×	○
13	加藤 清		○	○	○	○
9	飯坂 一也	公明党	○	○	○	×
14	阿部加代子		○	○	○	×
25	内田 和良	無会派	×	○	○	○
28	小野寺 重		○	○	○	○
賛成：反対			17:8	15:10	15:10	23:2

※議長は採決には加わりません。  
※委員会付託省略の動議とは、議案を委員会に付託して審査することなく本会議において討論、採決することを求める議員からの提議のこと。

議案番号	案 件 名
議案第6号	奥州市立幼稚園条例の一部改正について
議案第57号 (動議)	奥州市地域会議条例の制定について (委員会付託省略の動議)
議案第57号	奥州市地域会議条例の制定について
請願第38号	私学教育を充実・発展させるための請願

**議案第6号** 奥州市立幼稚園条例の一部改正について

**反対討論** この条例改正は、黒石幼稚園を廃止しようとするもの。教育委員会は本年6月に、奥州市立教育・保育施設再編計画を定めたがその中では、平成32年から37年の間に廃止予定とされていた。定員に対する児童数の充足率の著しい低下が背景にあり、他の園へ移ることになる園児に対して支援を行うとの説明だったが、今議会中に在園児の保護者から陳情書が提出され、あと2、3年は残してもらいたい希望があったこと、閉園であればもう少し早く方針を示してほしかったとのことだった。やはり保護者や地域への説明は1年以上かけ、募集停止を経て丁寧

な対応をすべきであり、週に1、2回近隣の幼稚園との合同保育をすれば、集団教育ができるのではないかと考え本議案に反対する。**賛成討論** 平成30年度の入園希望による5歳児1名と3歳児1名ないし2名の状態では複式学級に適さないという事情もあり、募集を停止したうえで閉園しようとするものは理解できる。幼稚園廃止に係る住民や保護者への説明の急務であり、閉園への準備期間の短さに對する住民理解への懸念、転園を余儀なくされる児童と保護者への支援等など、この議案について付託された常任委員会において教育委員会から改めて説明を受け質疑を行ったが、提出された記録、資料から地域住民、保護者等から納

得を得られていることが確認でき、また、地域協議会においても閉園はやむを得ないとの判断がなされている。  
今回のような幼稚園の状況は、市全体にみられる深刻な課題。これは、少子化の進行とともにライフスタイルの変化により保育所への入所希望が拡大していることが影響している。待機児童対策として保育所の規模拡大が進められる中、幼稚園は教育施設として1学級当たり最低3名以上在園しないとその役割を果たせないという事情がある。

委員会は認識しており、このことは間違いなく実行してもらうこと子ども・子育て支援制度をより広く理解してもらうよう繰り返し説明等を行うこと、閉園も含め施設再編を性急に実施しないことを求めつつ本議案は可決されるべきであると考えます。  
**反対討論** 賛成討論でもあったが、子ども達の教育環境について十分配慮すべきだというのはそのとおりだと思ふ。ただ、今回の黒石幼稚園の廃止は、廃止ありきで進んだと常任委員会を傍聴する中で感じたし、継続するという努力は全くみられないというところに地域住民の大きな違和感があったと感じた。本来、これらの幼児教育施設、保育施設のあり方は、十分時間を取って、住民の納得のもとに行われるべきであるという観点から、黒石幼稚園の廃止は非常に乱暴なやり方だというふうに思うため、本議案には反対する。



議案第6号での起立採決